



PUBLIC RELATIONS KAMIKOANI

広報

かみこあに

10月号
平成25年
No.657



大きな栗に 子供たちもビックリ!!

10月3日、かみこあに保育園の遠足で栗拾いに行きました。

子供たちが会場の友生園に到着すると、曇っていた空にも青空が広がり、まぶしい太陽の光が差し込むなか、元気な子供たちの声が響きました。

みんな、袋一杯に大きな栗を拾い、可愛らしい笑顔があふれていました。

主な内容

- | | |
|---------|-------------------|
| 2P～5P | KAMIKOANIプロジェクト秋田 |
| 8P～9P | 9月定例会 |
| 10P～11P | 平成24年度決算 |
| 22P | 臨時職員等採用情報 |

9/7 八木沢音楽散步

KAMIKOANIプロジェクト秋田
秋田2013音楽イベントとして「八木沢音楽散步」が行われました。雨のため八木沢集落棚田舞台から生涯学習センターへ場所を移して行われましたが、およそ200名の来場者が訪れ、出演者の奏でる音楽に聞き入りました。

出演者は、「コロリダス」「馬喰町バンド」「アラゲホンジ」の3組のグループで、東京を中心に行き、うち2組は、秋田県出身者が所属しております、今回の出演となりました。

会場からは1曲終わるたびに大きな拍手と歓声があがり、来場者はそれぞれの音楽を楽しみました。

第2部では、出演した3組のスペシャルセッションが行われ、3組それぞれの音楽性が見事に重なり合い、会場からは大きな拍手とアンコールの声が上がりました。アンコールでは、「秋田ドンパン節」が披露され、会場は大いに盛り上りました。

また、ホールの入口ではそれぞれのオリジナルCDやTシャツなどのグッズが販売され、来場者で賑わっていました。

「アラゲホンジ」



「馬喰町バンド」



「コロリダス」



KAMIKOANIプロジェクト秋田

各種イベント開催中!



「浅野梅若社中」



「THE CAT WALK」



「AKITA Smile Face」



八木沢の棚田舞台は四方を山に囲まれているため、出演者3組の歌や音楽が遠くまで響き渡ります。自然の恩恵を受けた素晴らしい音楽に、会場からは大きな拍手と歓声が送られました。

また、国民文化祭のPRイベント「THE CAT WALK」「浅野梅若社中」の3組で、ポップスやジャズ、民謡が棚田舞台で演奏され、幅広い年齢層のおよそ200名の観客が会場に訪れました。

また、国民文化祭のPRイベント「AKITA Smile Face」ということで、秋田県のマスコットキャラクターである「スギッチ」も登場し、国民文化祭テーマソングを歌う「AKITA Smile Face」とともに、タンバリンを演奏するなどユニークな場面もあり、会場を大いに盛り上げました。

9/28 大地の音楽

来年度、秋田県で行われる「国民文化祭」のPRイベントとして「大地の音楽」(主催 エキデン実行委員会)が行われました。KAMIKOANIプロジェクト秋田2013のイベントでは、初めて天気に恵まれ、八木沢棚田舞台で行われました。出演者は「AKITA Smile Face」「THE CAT WALK」「浅野梅若社中」の3組で、ポップスやジャズ、民謡が棚田舞台で演奏され、幅広い年齢層のおよそ200名の観客が会場に訪れました。

また、国民文化祭のPRイベント「AKITA Smile Face」ということで、秋田県のマスコットキャラクターである「スギッチ」も登場し、国民文化祭テーマソングを歌う「AKITA Smile Face」とともに、タンバリンを演奏するなどユニークな場面もあり、会場を大いに盛り上げました。

出展作家と作品

第2弾 八木沢公民館・旧沖田面小学校 屋内作品

① 田村 一（陶器）
「受肉作用」



② 高橋 つばさ（絵画）
「北の植生」「習作 樹木」
「2012年 啓蟄」「習作 鉱石」



③ 白田 誉主也（日本画）
「刻まれた記憶」



④ 山本 太郎（ニッポン画）
「土蜘蛛 -Roots of spider-」



八木沢に満ちた「モノノケ」に力
タチを与えることを想いました。
それがどんなモノだったかもう骨
のカタチしか残つてないけれど。
八木沢の空気があらためて彼らの
血肉としてやどつたら。

八木沢に来てなにより印象的だつ
たのは、森の美しさ、そしてそれが
とても近いことでした。
山岳というテーマを数年追つてき
ましたが、その入り口がここで待つ
ていてくれた気がしました。

歴史は大地の記憶となつて、今を
形成し、今も生きている。
長い歴史の上に、今の私が生きて
いることを改めて感じながら描きま
した。

謡曲「土蜘蛛」をテーマにした作
品。
病床の源頼光の元に薬をもつて胡
蝶という女性がお見舞いに訪れます。
しかし胡蝶が去り、夜が更けてい
くとどこからか土蜘蛛の精魂が現れ
頼光に襲いかかるのです。

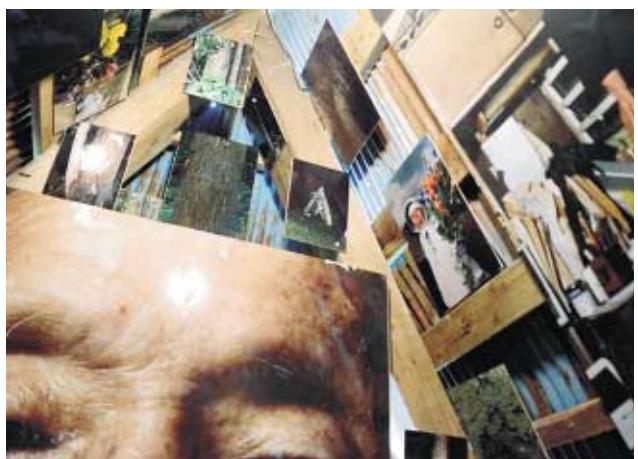
⑤ 藤本 尚美（漆造形）
「赤の偶像」「黒の偶像」



「赤の偶像」
目に見えない漆カブレを媒介者としての自己によつて偶像化し、体が拒むものをあえて取り入れ共存していくその姿勢とそれに反する現代社会の傾向に警鐘を鳴らす。

「黒の偶像」
形ある自己を表面として偶像化することによって唯一無二であるはずの個が揺らぎ曖昧性がさらけ出され
る。

⑥ 田附 勝（写真）
「みえないといふに私をしまづ」



八木沢集落で撮影しました。
八木沢集落は、木とトタンで出来た集落だと思いました。
木もトタンも人のように感じられました。

いずれみんな朽ちていく。
しかし、記憶を残して朽ちていく。



⑦ 船井 美佐（絵画）
「Utopia/Boundary」「夢の彼方」



樂園をテーマに描いています。
「樂園」とは、「誰も」が知つていいのに誰も實際に行つたことが無い、どこにも無いのに誰もの頭の中にある不思議な景色です。展示場所は、かつて多くの子供でにぎわつた小学校のプレイルームです。鏡によつて描かれた、記憶やイマジネーションの中の架空の樂園と、現実の景色が交差します。

夢の跡、今は無い失われた場所、思い出、もしくは、これからあなたが作る未来への希望。

⑧ 衣川 泰典（現代美術）
「スクラップブックのような絵画
#4（僕達の記憶）」「真夜中の出来事」「記憶の花」



作品に描かれる風景は、日常で出会った風景を記憶の断片として描いています。
無作為に描かれている匿名性のある風景と私達が見る風景は、それぞれのひとの記憶のどこかで繋がり、私達の住む世界の在り方を想像させてくれます。
私達のなかにある共有できる記憶の風景を見つめ直すことで、絶え間なく更新していく「現在(いま)」を考えるきっかけになればと思います。

⑨ 丸岡 憲一
まるおか しんいち

(イラストレーション・繪本)
「I am happier than you!」



⑩ 三宅 流 (映像)
「第一部 八木沢／根子 芸能の分
かれ」[究竟の地—岩崎鬼剣舞の一
年]



KAMIKOKAN PROJECT 秋田2013 作家によるワークショップが行われました

9月14日

●作品制作ワークショップ ●
「REVIVE THE MONSTERS!」
モンスター再生—!!—
八木沢にいた“モンスター”の標

本を作ろう!
講師 田村一(陶芸)
作品展示 八木沢公民館内

先着5人で募集した今回の作品制作ワークショップには4人が参加し、八木沢公民館で行われました。

参加者は、用意されたモンスターの”骨”をそれぞれ自由に組み合わせて”枠”に入れ、それぞれが思い描く八木沢のモンスターを表現しました。制作された作品は、会期終了まで田さんの作品と同じ場所で展示されています。

9月22日

●風呂焚きワークショップ ●
講師 市川 デュン(鉄彫刻)
作品展示 八木沢公民館前

八木沢公民館前の市川デュンさんの作品である「Homeless Bath」で実際にお湯を沸かし、希望する方に入浴してもらいました。この作品は、展示会場で入浴中の風景を楽しむのもコンセプトの一つです。

会場では市川さん本人も入浴し、訪れた来場者へ作品の説明を行いました。展示作品で入浴できるという珍しい企画に、訪れた方々も足を止め、写真を撮るなど楽しんでいました。



第一部 八木沢／根子 芸能の分かれ

壁面の絵画は、幸福な村の生活や小学校の様子をイメージしています。小学校に残された実際の子どもの絵や、スタンプなど遊び心も加えています。作品は、ただみんなに楽しんでもらおうと制作しています。気に入っていたけたら、何度も訪れて下さい。それがこの作品の一番重要なコンセプトです。

廃校校舎の名残から感じられる生命力や、滯在中にかかわった地元の人々から受ける村の暮らしの印象などを、ずっと心にとどめて制作しました。

八木沢集落は200年ほど前、隣接する根子集落から17人が根烈岳を越えて移住して来たのが始まりと言われる。

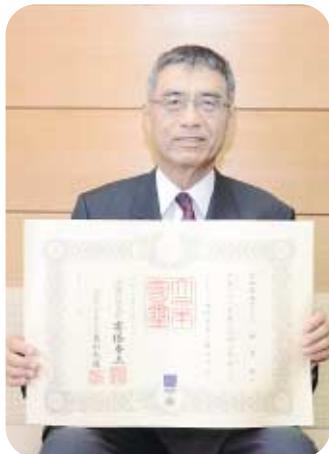
その時に根子番楽も伝えられ、八木沢番楽として独自の進化をとげた。八木沢の生活と芸能のルーツを探る試論。

小学校に残された実際の子どもの絵や、スタンプなど遊び心も加えています。作品は、ただみんなに楽しんでもらおうと制作しています。気に入っていたけたら、何度も訪れて下さい。それがこの作品の一番重要なコンセプトです。

廃校校舎の名残から感じられる生命力や、滯在中にかかわった地元の人々から受ける村の暮らしの印象などを、ずっと心にとどめて制作しました。



北林 孝雄氏 紺綬褒章授与伝達式



9月24日、村長室において紺綬褒章の伝達式が行われ、秋田市在住の北林孝雄氏に褒状が手渡されました。北林氏は、昨年12月に、村の若い世代が姉妹提携都市である台湾屏東県萬巒郷を訪問することで見聞を広め、地域社会に貢献できるよう育つことを願い、1000万円を寄付してくださいました。



9月20日、株式会社北都銀行との「災害協力に関する協定」の締結式が行われました。式には、北都銀行本店の進藤勝美常務のほか、米内沢支店の高松支店長らが訪れ、協定書に署名し、県内で18カ所目となる本協定が締結しました。

この協定は、2年前の東日本大震災や8月の大館市の大雨被害などの教訓を生かし、災害が派生した場合に、村民の皆さんのお不安の解消と安全の確保のため相互に協力し、災害対応を円滑に実施することや、平常時の防災意識向上のため連携・協力を図る目的で締結されました。

災害協力に関する協定締結式

株式会社 北都銀行

上小阿仁村敬老会

長寿のお祝い

事前予約制

ご利用ください。

9月13日、健康増進トレーニングセンターで上小阿仁村敬老会が行われました。今年度の75歳以上の対象者は男性299人、女性515人、金婚21組でした。参加者は、保育園児による元気いっぱいの遊戯やフラダンス、村内舞蹈グループの演舞、カラオケなどのアトラクションを楽しみました。



9月12日には、特別養護老人ホーム杉風荘でも敬老会が行われ、対象者86人が、家族とともに村内舞踏グループの舞や、フラダンス、かみこみに音頭などのアトラクションを楽しみました。これからも、健康に留意され、いつもお元気でお過ごしください。

（役場発） 朝便 午前7時20分 昼便 午前11時30分 夕便 午後4時00分

（八郎潟駅発） 朝便 午前9時00分 昼便 午後1時00分 夕便 午後5時30分

（運行時刻） ● 運行時刻

どなたでも自由に利用できます。（県外の方も利用可能です。）
村内から八郎潟駅まで平日、朝・昼・夕、電話予約により運行しています。

● 料金（片道）

・おとな	1,000円
・こども（小学生）	500円
（乳幼児無料）	

● 申し込み先
上小阿仁村社会福祉協議会
☎ 0186(7)3058